

平成 26 年度
牧之原市議会アンケート
～ 報告書 ～

平成 26 年 9 月
牧之原市議会

目 次

1	調査の概要	1
1)	調査の目的	1
2)	調査項目	1
3)	調査の設計	1
4)	回収状況	1
2	調査結果	2
1)	調査結果の要約	2
2)	調査結果の詳細	3
	< 市議会への関心状況 >	3
	< 市議会の傍聴経験の有無 >	4
	< 『まきのはら議会だより』の閲読状況 >	5
	< 議会報告会への参加経験の有無 >	6
	< 本会議のインターネット録画配信の視聴状況 >	7
	< 議員との意見交換の場の必要性 >	8
	< 市議会の評価 >	9
	< 市議会への市民の声の反映状況 >	10
	< 期待する今後の議会改革 >	11
	< 回答者の属性 >	13
3	調査票	14

1 調査の概要

1) 調査の目的

この調査は、市民の皆様の議会に対するアンケート調査を行い、今後の議会運営・議会改革の参考にすることを目的に実施する。

2) 調査項目

- ・市議会への関心状況
- ・『まきのはら議会だより』の閲読状況
- ・本会議のインターネット録画配信の視聴状況
- ・市議会の評価
- ・期待する今後の議会改革
- ・回答者の属性
- ・市議会の傍聴経験の有無
- ・議会報告会への参加経験の有無
- ・議員との意見交換の場の必要性
- ・市議会への市民の声の反映
- ・議会に対する意見（自由意見）

3) 調査の設計

- ・調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の16歳以上の男女
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：平成26年7月18日～平成26年8月1日
- ・発送数：1,394通（1,400人抽出のうち転居等で6通は不達）

4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,394人	785人	56.3%

抽出数は1,400人であるが、事前転居や宛先不明により市内に居住が認められない6人については対象外とした
回収数790人のうち無効票5人

報告書を見る際の注意事項

回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。

百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。

1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがある。

2 調査結果

1) 調査結果の要約

議会に関心がある人は6割超

市議会への関心については、「少しある」が44.5%と最も多く、次いで「ない」が35.2%、「ある」が17.6%となっている。

市議会の会議を傍聴したことがある人は1割未満

市議会の会議の傍聴経験は、「ない」が91.1%と大半を占めており、「ある」は6.5%にとどまっている。

『まきのはら議会だより』を一通り読んでいる人は1割程度

『まきのはら議会だより』の閲覧状況は、「関心のあるものだけ読む」が53.2%と約半数を占めて最も多く、次いで「ほとんど読まない」が18.1%、「どの記事も読む」が12.6%などとなっている。

議会報告会に参加した人は約5%、議会報告会を知っていた人は3割程度

議会報告会への参加経験は、「知らなかった」が62.3%と6割を超え最も多く、次いで「知っていたが参加しなかった」が29.9%、「参加した」が4.8%となっている。

本会議のインターネット録画配信を視聴した人は約1%、知らなかった人は7割超

本会議のインターネット録画配信については、「知らなかった」が75.2%と最も多く、次いで「知っていたが見たことはない」が19.6%、「見た」が1.4%となっている。

議員との意見交換の場は「必要だと思う」が約6割

市政についての議員との意見交換の場については、「必要だと思う」が63.3%と6割を超え最も多く、「必要だと思わない」が7.9%となっている。

現在の牧之原市議会を評価している人は約3割

現在の牧之原市議会への評価については、「ある程度評価している」が29.0%と3割近くを占め最も多く、次いで「あまり評価していない」が28.4%、「わからない」が25.9%となっている。

市議会への市民の声が反映されていると思う人は約3割

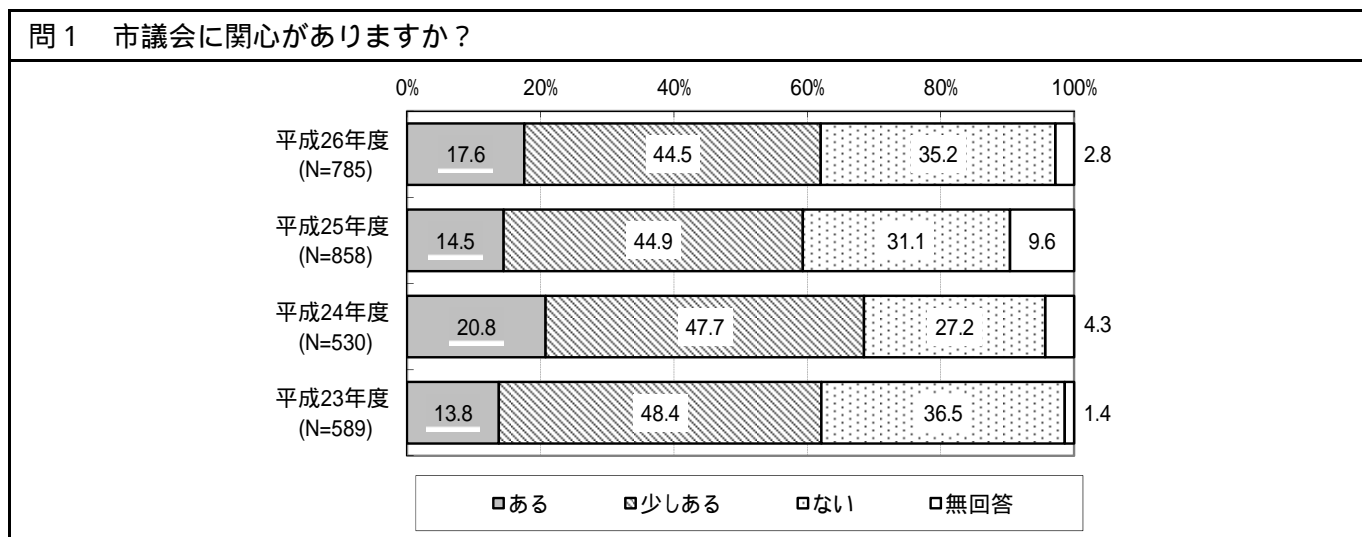
市議会への市民の声については、「ある程度は反映されていると思う」が29.9%、「反映されていない」が29.3%となっている。

今後期待する議会改革は、「情報公開」が5割超

今後期待する議会改革については、「情報公開」が55.9%と半数以上を占めて最も多い。

2) 調査結果の詳細

< 市議会への関心状況 >

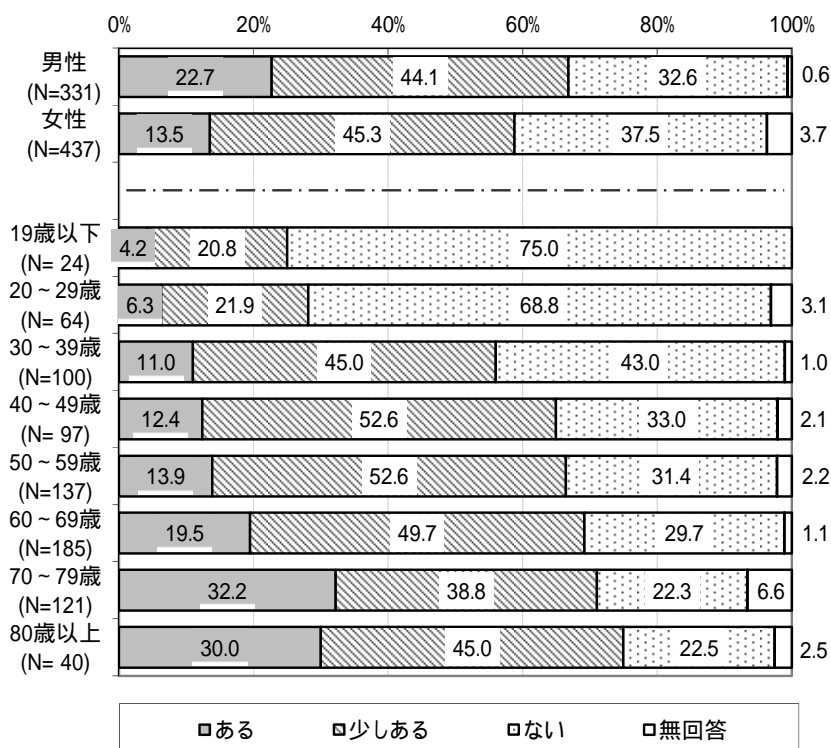


市議会への関心については、「少しある」が44.5%と最も多く、次いで「ない」が35.2%、「ある」が17.6%となっている。「ある」と「少しある」の合計である“関心がある”は、62.1%となっている。

昨年度と比較すると、「ない」が4.1ポイント増加している。

クロス集計

(0.0%非表示)



【性別】

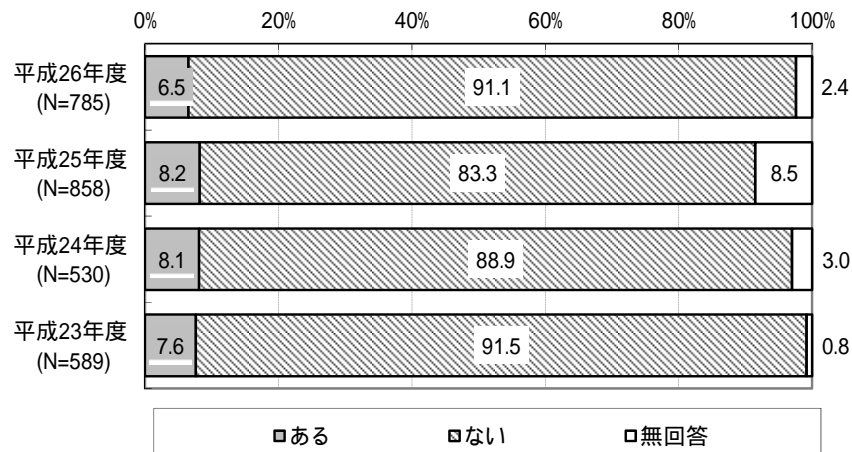
男性において「ある」が22.7%と、女性を9.2ポイント上回っている。一方、女性においては「ない」が37.5%と、男性を4.9ポイント上回っている。

【年代別】

“70歳以上”において「ある」が3割以上と多くなっている。一方、“30歳未満”においては「ない」が6割を超えている。

< 市議会の傍聴経験の有無 >

問2 市議会の会議を傍聴したことがありますか？

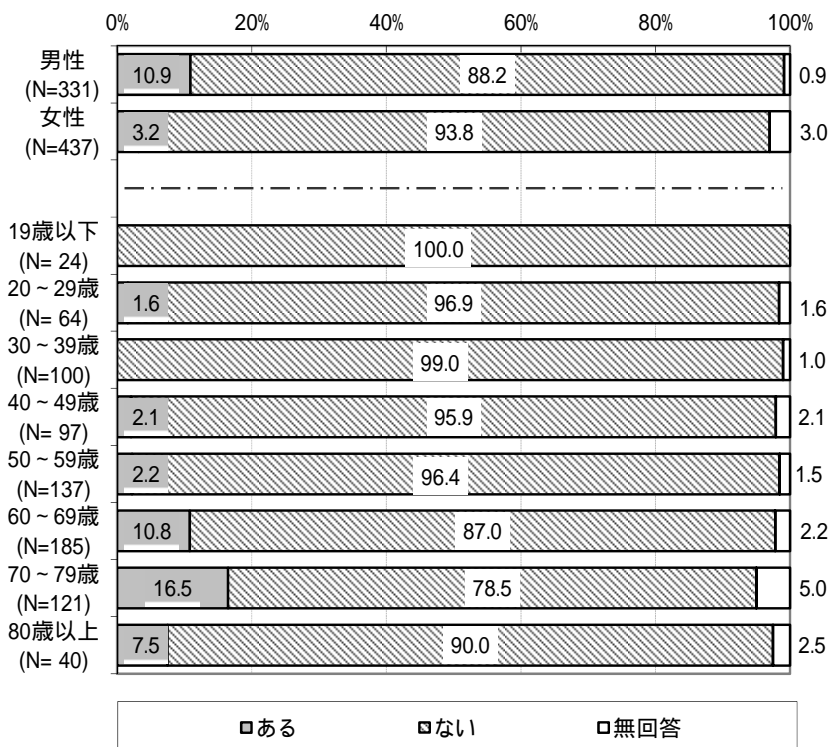


市議会の会議の傍聴経験は、「ない」が91.1%と大半を占めており、「ある」は6.5%にとどまっている。

昨年度と比較すると、「ない」が7.8ポイント増加している。

クロス集計

(0.0%非表示)



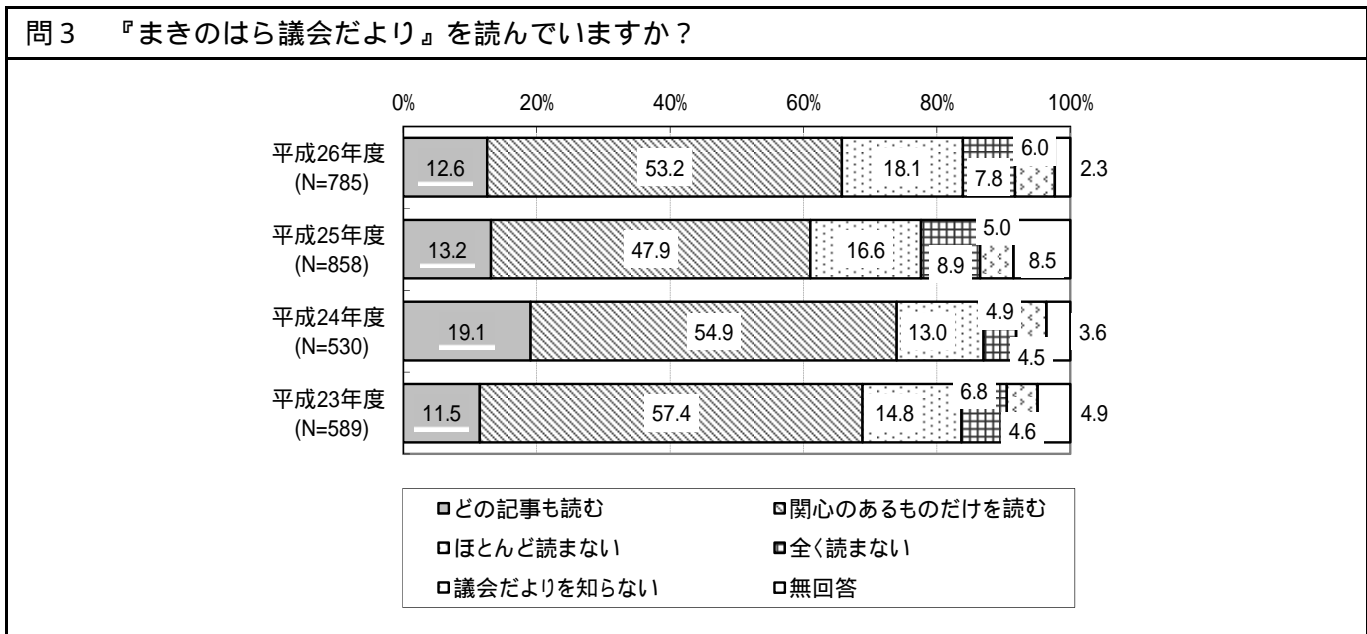
【性別】

男性において「ある」が10.9%と、女性を7.7ポイント上回っている。

【年代別】

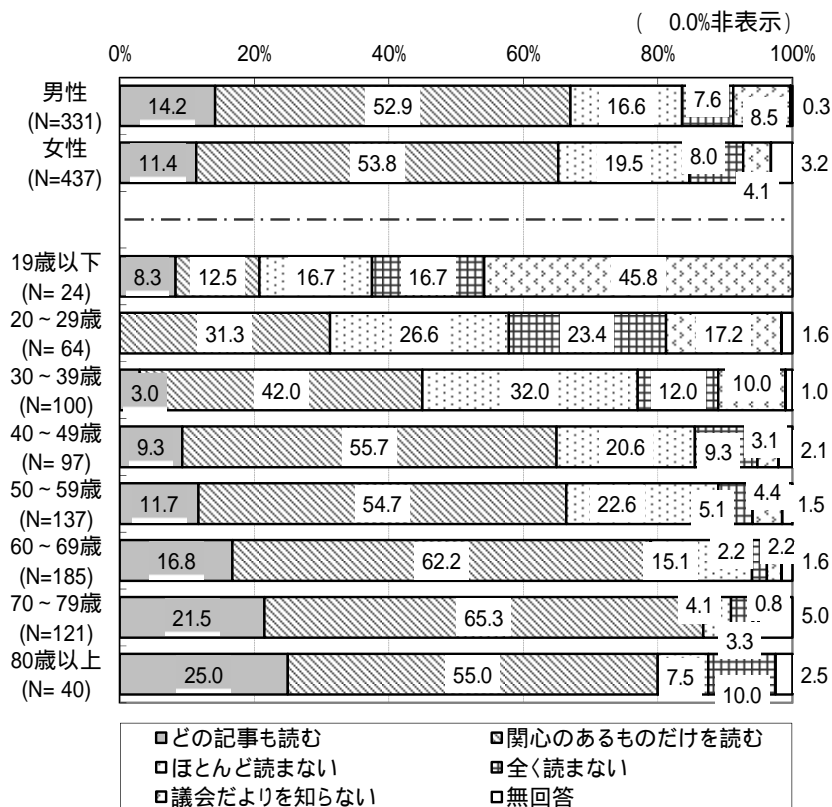
“60歳～79歳”において「ある」が、1割を超えて多くなっている。

< 『まきのはら議会だより』の閲読状況 >



『まきのはら議会だより』の閲読状況は、「関心のあるものだけ読む」が 53.2%と約半数を占めて最も多く、次いで「ほとんど読まない」が 18.1%、「どの記事も読む」が 12.6%などとなっている。「どの記事も読む」と「関心のあるものだけ読む」の合計である“読んでいる”は 65.8%、「ほとんど読まない」と「全く読まない」の合計である“読んでいない”は 25.9%となっている。昨年度と比較すると、“読んでいる”は 4.7ポイント増加している。

クロス集計



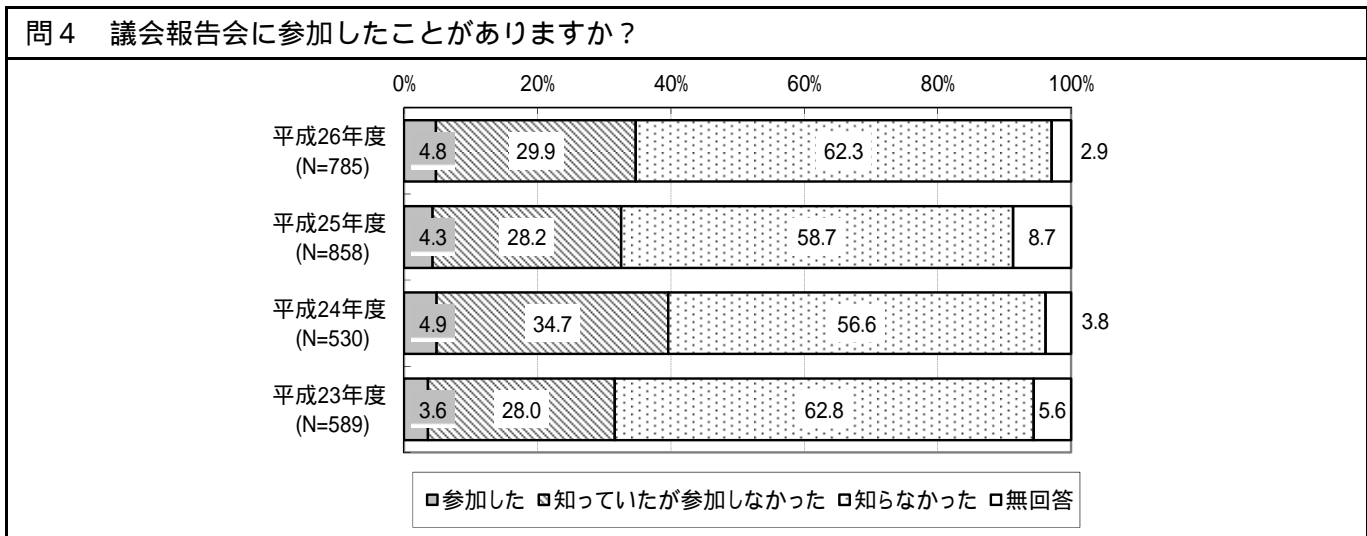
【性別】

男性において「どの記事も読む」が 14.2%と、女性を 2.8ポイント上回っている。一方、女性においては「ほとんど読まない」が 19.5%と、男性を 2.9ポイント上回っている。

【年代別】

年代が上がるにつれて、“読んでいる”が、多くなる傾向にある。“70歳以上”では「どの記事も読む」が 2割を超えている。

< 議会報告会への参加経験の有無 >

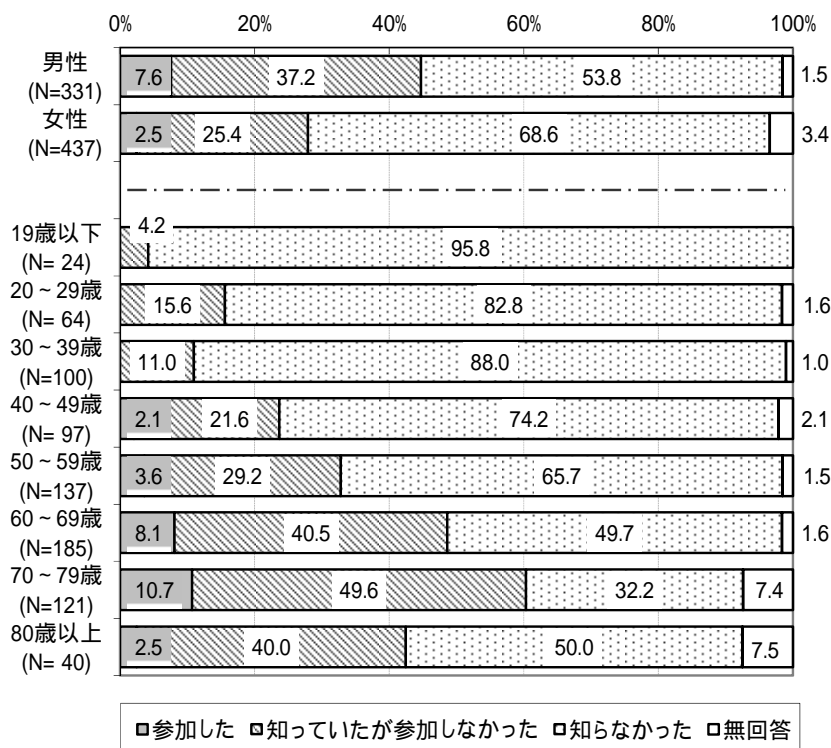


議会報告会への参加経験は、「知らなかった」が62.3%と6割を超え最も多く、次いで「知っていたが参加しなかった」が29.9%、「参加した」が4.8%となっている。「参加した」と「知っていたが参加しなかった」の合計である“知っていた”は、34.7%となっている。

昨年度と比較すると、「知らなかった」は3.6ポイント増加し、“知っていた”は2.2ポイント増加している。

クロス集計

(0.0%非表示)



【性別】

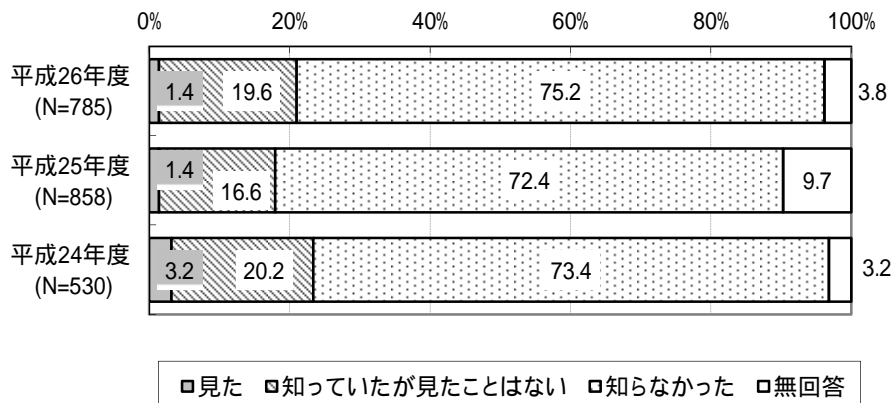
男性において「参加した」が7.6%と、女性を5.1ポイント上回っている。一方、女性においては「知らなかった」が68.6%と、男性を14.8ポイント上回っている。

【年代別】

70～79歳において「参加した」が10.7%と、1割を超え多くなっている。一方、“60歳未満”においては「知らなかった」が、6割を超えて多くなっている。

< 本会議のインターネット録画配信の視聴状況 >

問5 ー昨年6月定例会から本会議のインターネット録画配信を始めました。見たことがありますか？

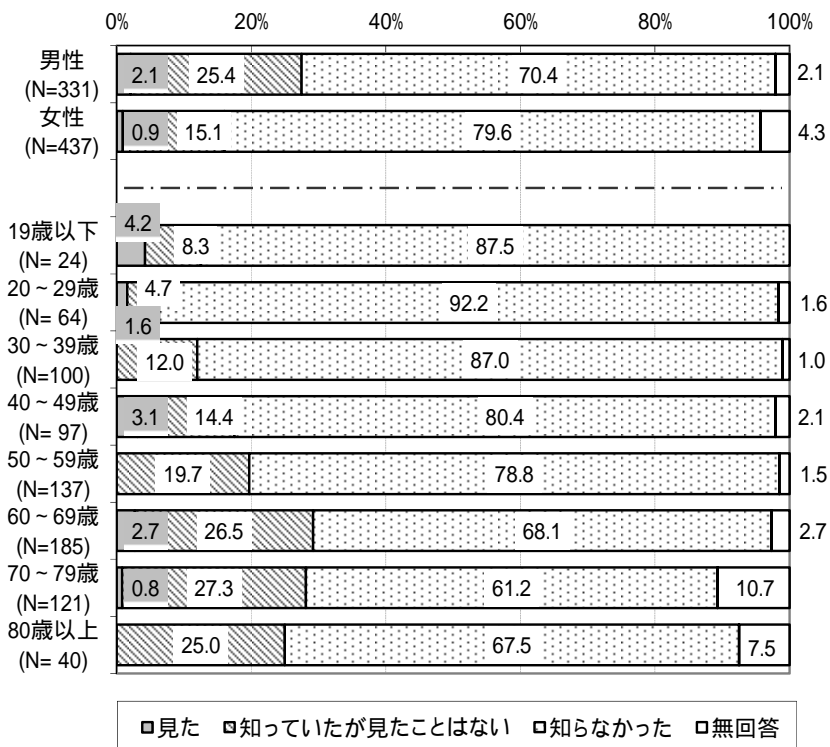


本会議のインターネット録画配信については、「知らなかった」が75.2%と最も多く、次いで「知っていたが見たことはない」が19.6%、「見た」が1.4%となっている。「見た」と「知っていたが見たことはない」の合計である“知っている”は、21.0%となっている。

昨年度と比較すると、「知らなかった」は2.8ポイント増加し、“知っている”は3.0ポイント増加している。

クロス集計

(0.0%非表示)



【性別】

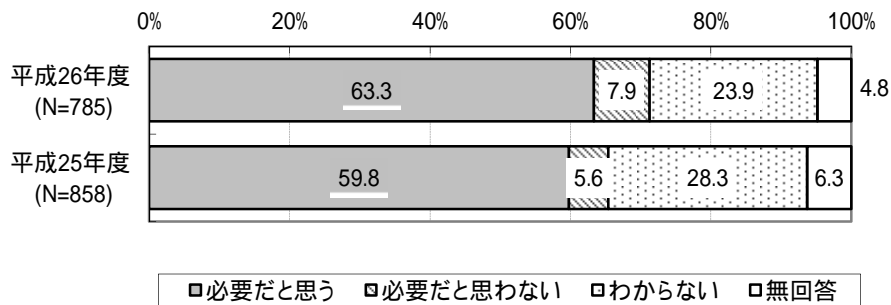
男性において「知っていたが見たことはない」が25.4%と、女性を10.3ポイント上回っている。一方、女性においては「知らなかった」が79.6%と、男性を9.2ポイント上回っている。

【年代別】

“60歳以上”において「知っていたが見たことはない」が2割を超えて多くなっている。一方、“60歳未満”においては「知らなかった」が7割を超えて多くなっている。

< 議員との意見交換の場の必要性 >

問6 市政について議員との意見交換の場を持つことが必要だと思いますか？

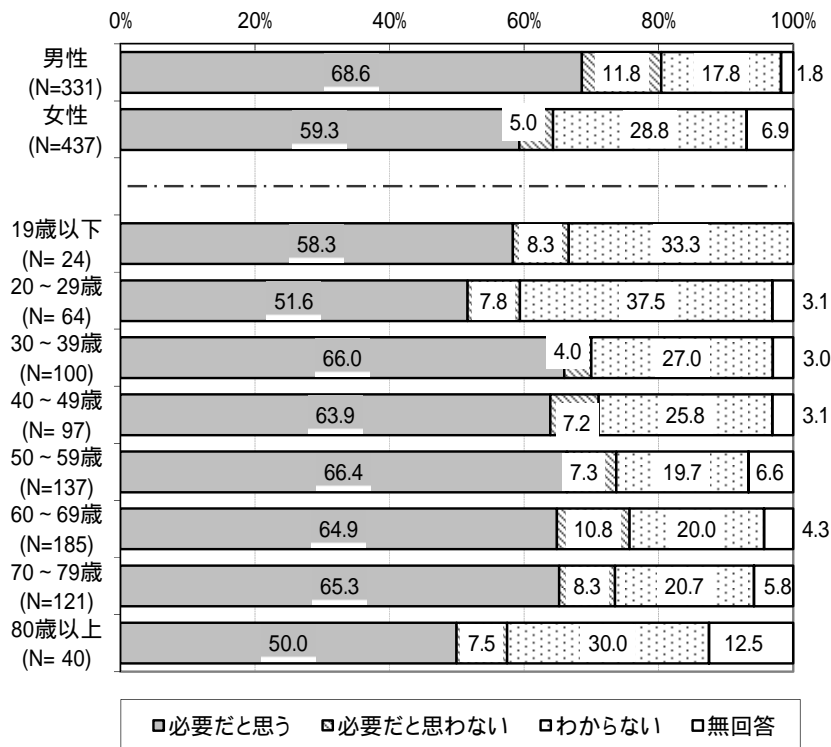


市政についての議員との意見交換の場については、「必要だと思う」が 63.3%と 6 割を超え最も多く、「必要だと思わない」が 7.9%となっている。

昨年度と比較すると、「必要だと思う」は 3.5 ポイント増加し、「必要だと思わない」は 2.3 ポイント増加している。

クロス集計

(0.0%非表示)



【性別】

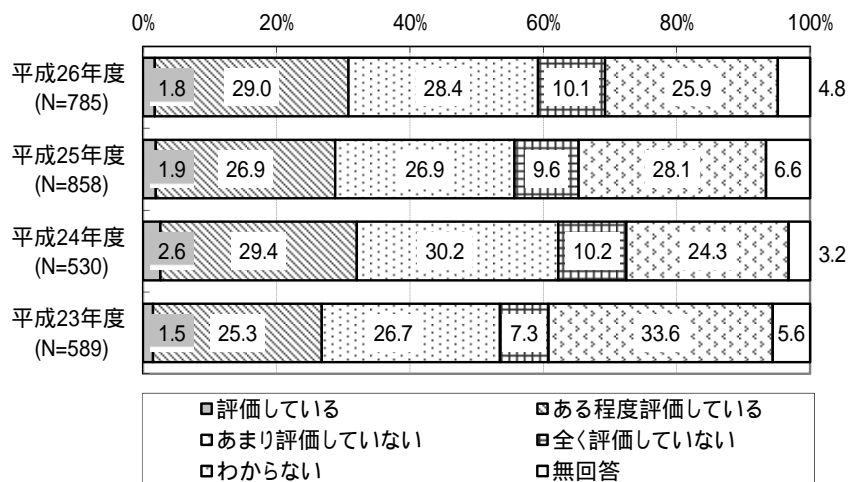
男性において「必要だと思う」が 68.6%と、女性を 9.3 ポイント上回っている。一方、女性において「わからない」が 28.8%と、男性を 11.0 ポイント上回っている。

【年代別】

“ 30～79 歳 ” において「必要だと思う」が 6 割を超えて多くなっている。一方、“ 30 歳未満 ” と 80 歳以上においては「わからない」が、 3 割以上を占めている。

< 市議会の評価 >

問7 現在の牧之原市議会をどう評価していますか？

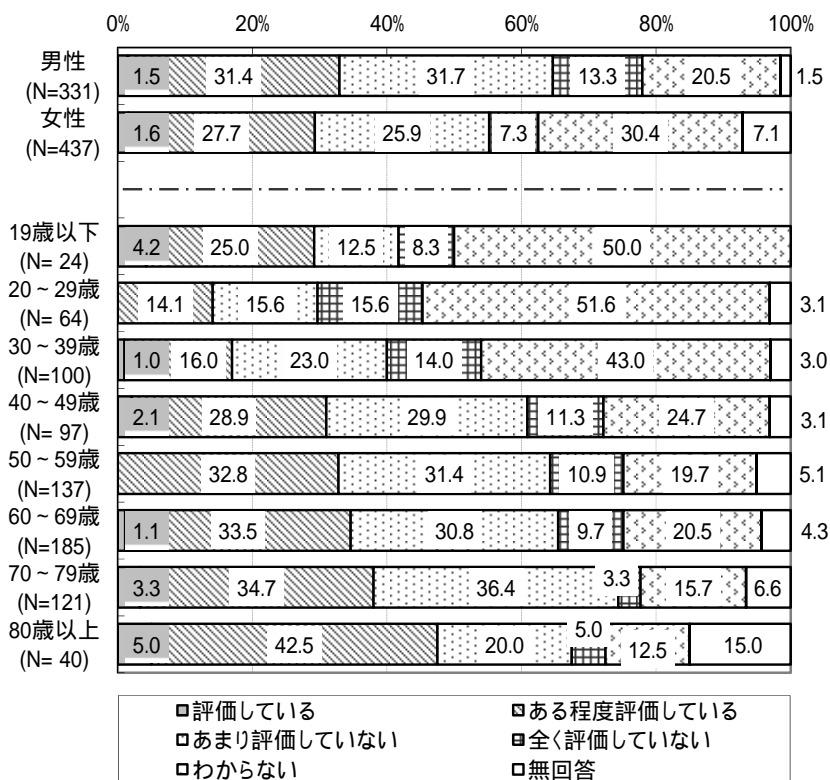


現在の牧之原市議会への評価については、「ある程度評価している」が 29.0%と3割近くを占め最も多く、次いで「あまり評価していない」が 28.4%、「わからない」が 25.9%となっている。「評価している」と「ある程度評価している」の合計である“評価している”は 30.8%、「あまり評価していない」と「全く評価していない」の合計である“評価していない”は 36.0%となっている。

昨年度と比較すると、“評価している”は 2.0 ポイント増加しており、“評価していない”は 1.7 ポイント減少している。

クロス集計

(0.0%非表示)



【性別】

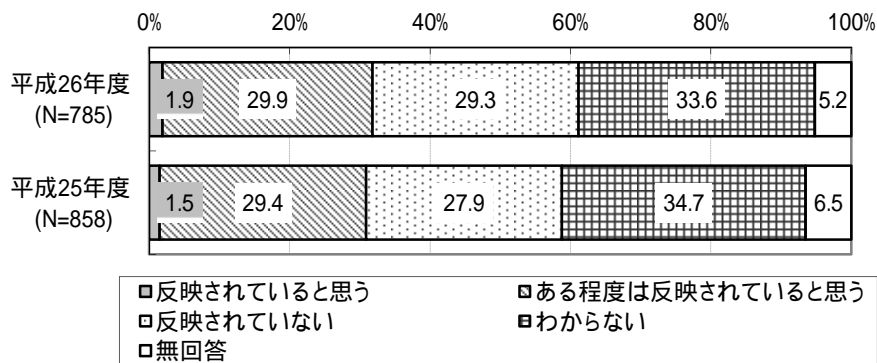
男性において“評価していない”が 45.0%と、女性を 11.8 ポイント上回っている。一方、女性においては「わからない」が 30.4%と、男性を 9.9 ポイント上回っている。

【年代別】

“40～69歳”において“評価していない”が4割を超えて多くなっている。一方、80歳以上においては“評価している”が 47.5%と、4割を超えて多くなっている。

< 市議会への市民の声の反映状況 >

問 8 市議会に市民の声が反映されていると思いますか？

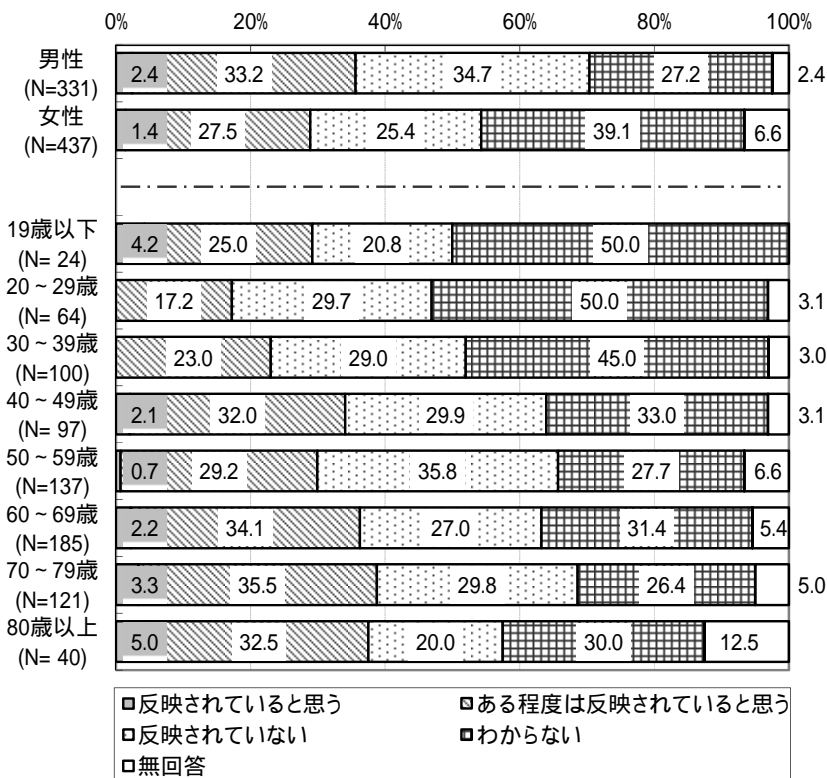


市議会への市民の声については、「わからない」が 33.6%と3割を超え最も多く、次いで「ある程度は反映されていると思う」が 29.9%、「反映されていない」が 29.3%となっている。「反映されていると思う」と「ある程度は反映されていると思う」の合計である“反映されている”は 31.8%となっている。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられない。

クロス集計

(0.0%非表示)



【性別】

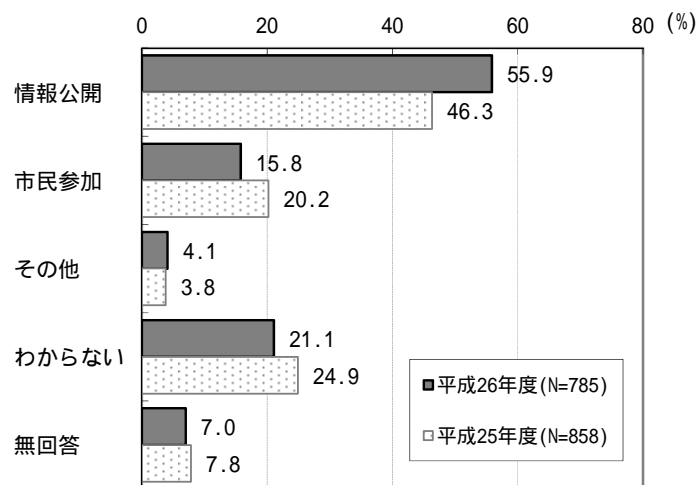
男性において「反映されていない」が 34.7%と、女性を 9.3ポイント上回っている。一方、女性において「わからない」が 39.1%と、男性を 11.9ポイント上回っている。

【年代別】

50～59歳において「反映されていない」が 35.8%と、3割を超えて多くなっている。一方、“40歳未満”においては「わからない」が、4割以上を占めて多くなっている。

< 期待する今後の議会改革 >

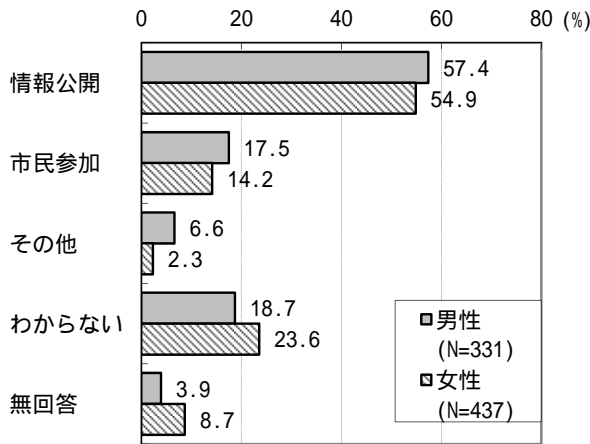
問9 現在、牧之原市議会では議会改革を進めています。今後の議会改革に何を期待しますか？



今後期待する議会改革については、「情報公開」が55.9%と半数以上を占めて最も多く、次いで「わからない」が21.1%、「市民参加」が15.8%となっている。

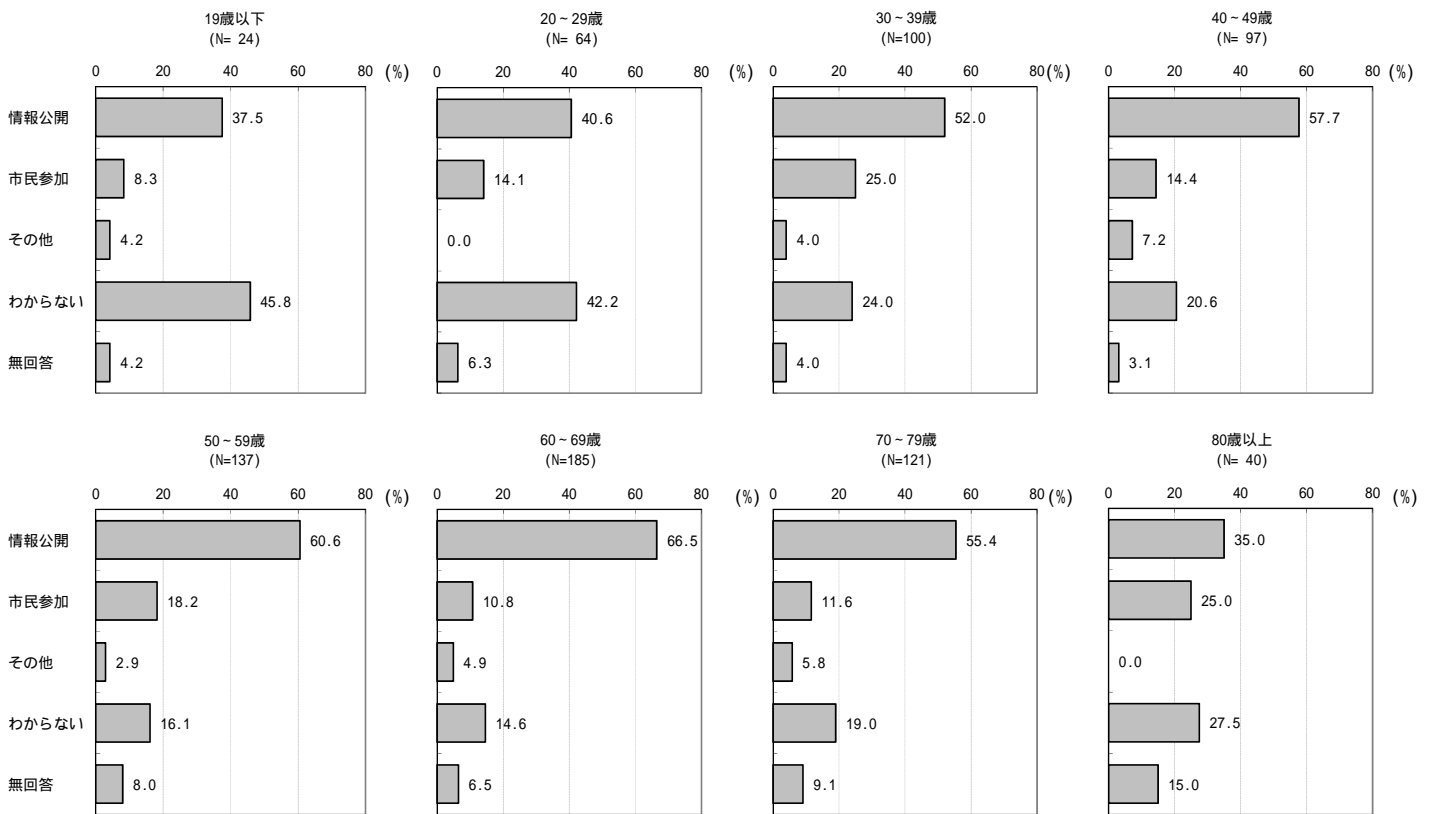
昨年度と比較すると、「情報公開」は9.6ポイント増加しており、「市民参加」は4.4ポイント減少している。

クロス集計



【性別】

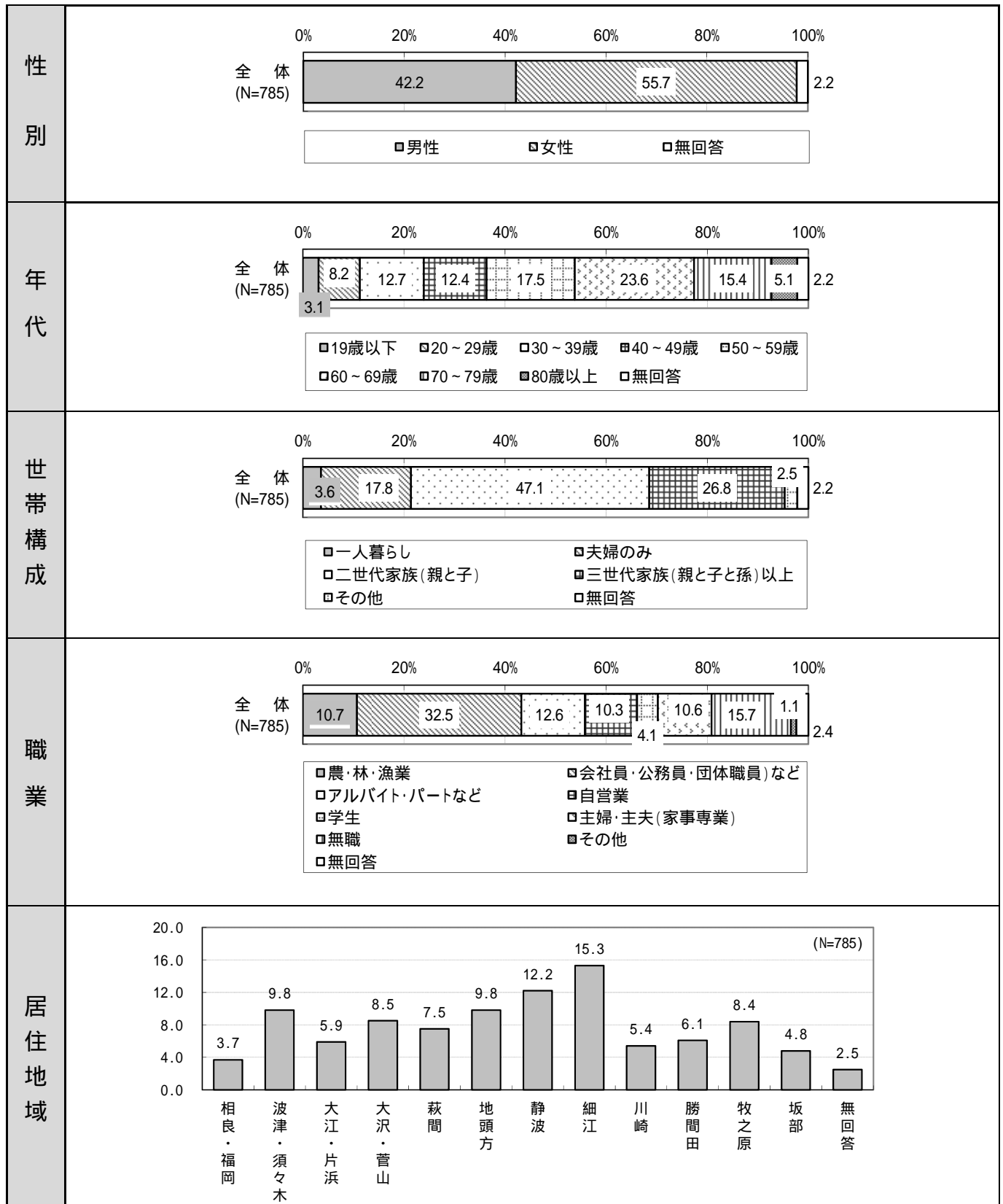
女性において「わからない」が23.6%と、男性を4.9ポイント上回っている。



【年代別】

30～39歳、80歳以上において「市民参加」が2割を超えて多く、「50～69歳」においては「情報公開」が6割を超えて多くなっている。

< 回答者の属性 >



性別は、「男性」が42.2%に対して、「女性」が55.7%と、女性の方が13.5ポイント高くなっている。年代は、「60～69歳」が23.6%で最も多く、次いで「50～59歳」が17.5%、「70～79歳」が15.4%の順となっている。

居住地は、「細江」が15.3%で最も多く、次いで「静波」が12.2%の順となっている。

平成 26 年度牧之原市議会アンケート

牧之原市議会では、議会基本条例を制定し、開かれた議会と市民参加を推進する議会を目指しています。

今回も、市の市民意識調査にあわせて、市民の皆様へ議会に対するアンケート調査を実施することといたしました。

今後の議会運営・議会改革の参考といたしますので、お手数ですがアンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

牧之原市議会

< 回答のしかた >

設問ごと、番号に を一つ付けてください。 例) ① ある

問 1 市議会に関心がありますか？

- 1 ある 2 少しある 3 ない

問 2 市議会の会議を傍聴したことがありますか？

- 1 ある 2 ない

問 3 『まきのはら議会だより』を読んでいますか？

- 1 どの記事も読む 2 関心のあるものだけを読む
3 ほとんど読まない 4 全く読まない 5 議会だよりを知らない

問 4 議会報告会に参加したことがありますか？

- 1 参加した 2 知っていたが参加しなかった 3 知らなかった

問 5 一昨年 6 月定例会から本会議のインターネット録画配信を始めました。見たことがありますか？

- 1 見た 2 知っていたが見たことはない 3 知らなかった

【平成 26 年度 牧之原市 市民調査と併用】

<あなたご自身のことについてお聞きします>

問 24 それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

1 あなたの性別は？

1. 男 性	2. 女 性
--------	--------

2 あなたの年齢は？

1. 19 歳以下	2. 20 ~ 29 歳	3. 30 ~ 39 歳	4. 40 ~ 49 歳
5. 50 ~ 59 歳	6. 60 ~ 69 歳	7. 70 ~ 79 歳	8. 80 歳以上

3 あなたを含む同居世帯の構成は？（ はひとつ）

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世世代家族（親と子）
4. 三世世代家族（親と子と孫）以上	5. その他（ ）	

4 あなたの職業は？

1. 農・林・漁業	2. 会社員・公務員・団体職員（役員含む）など
3. アルバイト・パートなど	4. 自営業
5. 学 生	6. 主婦・主夫（家事専業）
7. 無 職	8. その他（ ）

5 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

1. 相良・福岡	2. 波津・須々木	3. 大江・片浜	4. 大沢・菅山
5. 萩 間	6. 地頭方	7. 静 波	8. 細 江
9. 川 崎	10. 勝間田	11. 牧之原	12. 坂 部

平成 26 年度
牧之原市議会アンケート
報告書

発行 平成 26 年 9 月
発行者 牧之原市議会
企画・編集 牧之原市議会 事務局
〒421-0592
静岡県牧之原市相良 275 番地
TEL : 0548-53-2650 FAX : 0548-52-1116
E-Mail gikai@city.makinohara.shizuoka.jp
<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp>